

エネルギー環境

教育のひろば



北海道エネルギー環境教育研究委員会組織広報部会
2006.2.14
第4号 発行

見学マップ対象施設視察

レポートサービス

去る平成十七年十月十五日(土曜日)十時から十六時と短い時間で三ヶ所の視察をした。まず最初に行ったのが手稲区手稲山口にある「リポートサービス」でハイブリッド発電機として実験開発中の「ツイントロータ式風力発電機」などを視察した。個人



経営の小さな町工場といった場所ではあったが、もともと素人だつた社長のフロンティア精神と研究熱心さに驚くとともに自然エネルギー活用への情熱を強く感じた。

北大アイスシエルト

二番目に視察したのが北大の「アイスシエルト」である。農学部畑にぼつんと建てられたあまり目立たない施設であるが、冬季間の寒気を利用して氷を作り、その氷を利用して農作物の長期貯蔵技術の開発を行っている施設である。床面積は六〇平方メートル、貯氷量約六〇トン、十月半ばでもまだ少し氷が残っており、摂氏5度程に保たれていた。その断熱性能の高さに驚くとともに今後の冷熱資源としての活用に有望性を感じ



た。これは雪や氷など北海道の冬の寒さを生かしたものであり、夏の暑い時期に冷熱資源として利用し、エネルギーを節約する優れた施設であると思った。今後の普及に期待したいものである。

JRタワー地下の巨大な発電所



三ヶ所目は天然ガスコージェネレーション活用型地域熱供給システムの地下発電所の視察であった。とにかくすごい。必見!

飛躍の年を迎えて

副委員長(企画部会長)

百舌 止美

本会では、平成十四年二月にエネルギー環境教育の推進を図るため校種や教科の枠を超えて誕生した特色ある研究会である。地道な研究活動を行い、成果を残しているが、さらに多くの先生方に参加していただけるような体制を整え認知度を高めることが急務である。「エネルギー環境教育」は、これからの時代に必要不

可欠である。今まで理論の構築と授業に生かせる資料の整備を進めてきたが、いよいよ来年度は、本委員会として節目の年である五年目を迎える。これまでの成果を研究授業により全道の先生方にご批評いただけるよう研究大会を行う。是非多くの皆様に準備段階より係わっていただき参加していただけるよう強く希望する。

エネルギー環境教育

研究シンポジウム開催

日時 平成十八年二月二十五日(土曜日)
十三時～一七時

場所 ホテルライフォート札幌

二階 ライフォートホール
テーマ 目的意識をもって、エネルギー環境教育に学校全体で取り組もう
*参加費無料

内容 研究発表・調査報告・実践

事例発表・基調報告・講演

講演 「学校教育からみたエネルギー環境教育」

エネ関係教員貸し出し中

本会では会員の皆様に風力発電の実験用模型・自転車発電機などの貸し出しをしております。ご希望の方は、下記エナジートークにお電話等でお尋ねください。

北海道エネルギー環境教育研究委員会

連絡先 北海道エナジートーク21

北1条西5丁目 北1条三井ビル2F

ホームページアドレス <http://www.enetalk21.gr.jp>

TEL-011(251)9710, FAX-011(251)3974

道南支部が発足

当委員会に初めて支部が誕生した。北海道エネルギー環境教育研究委員会道南支部で、函館を中心に渡島、檜山管内のエネルギー環境教育関連教科の教諭69人が参画。この2月11日、函館市内のホテルで設立総会が開き、新たな船出を祝い合った。道南支部の設立は、エネルギー環境教育が全道的な広がりを持つべきがけとなるだろう。

平成14年2月発足した当委員会は、エネルギー環境教育の実践を目指し、活発な諸活動を展開してきたが、その活動が札幌中心だったことから、全道的なひろがりこそエネルギー環境教育実践への確かな取り組みにつながるの考えから平成17年度活動計画の主目標に支部設立を掲げた。そして、道南、道東、道北と3拠点作りを目指し、それぞれ地元教育界と接触した結果、函館を中心とした教育界から支部設立の気運が一気に盛り上がりを見せた。

支部設立にあたり、函館だけでなく渡島、檜山管内の小中高校にも参加を呼びかけ、文字通り道南支部として旗揚げすることになったが、設立前には69人のエネルギー環境に關連する教科の教諭らが会員として名乗りを挙げるなど、大きな一歩を踏み出せることとなった。これにより当委員会の総会員数は240人に達した。

2月11日開かれた設立総会では、会則、活動計画等を審議、議決し、さらには役員を選出、支部長には函館市立青柳小学校の土肥久幸校長を選んだ。活動計画としては、本年6月に講演会の開催等を予定するが、当委員会(札幌本部委員会)とのあらゆる面での連携を前面に打ち出し、2月25日の札幌シンポジウム、11月に予定の全道研究大会等への積極的な参加など推進していくことになった。

支部長以外の役員は次のとおり。

▽ 副支部長

阿部憲司(函館市立宇賀の浦小校長)、亀谷幸夫(同北日吉校長)、

藤井良江(同弥生小校長)、森武由美子(同中島小校長)、

碓幸信(同南本通小校長)、吉田耕作(江差水堀小校長)、

岡野伸二(函館本通中教頭)、岡頭慎一(長万部中教頭)

▽ 常任委員

高橋勝保(せたな玉川小校長)、小林敏徳(森濁川小校長)、

伊藤克美(函館桔梗小教頭)、柳博之(同港小教頭)、

鈴木洋美(同旭岡小教頭)、小川祥子(同鍛神小教諭)、

小棚木こずえ(同亀田中教諭)、白川卓(同深堀中教諭)、

盛健(同神山小教諭)、小仲剛(同中島小教諭)

▽ 事務局長

伊勢昭(函館旭岡小校長)

▽ 事務局

加賀亨(函館桔梗中教諭)、佐々木正幸(同柏野小教諭)



あいさつする土肥支部長



会則等を審議する総会